

「知的財産推進計画2018」のフォローアップ及び 「知的財産推進計画2019」の策定に向けた検討体制

1. 知的財産戦略本部（平成30年6月12日）

○「知的財産戦略ビジョン」「知的財産推進計画2018」を決定

○安倍総理から以下のとおり、取りまとめ発言で指示あり。

「革新的なイノベーションにより、Society5.0に向かって、世界が劇的な変化を遂げつつある中において、知的財産の重要性は益々大きくなると同時に、多様な価値を反映して、そのあり方も大きく変化しつつあります。

こうした時代の変化を先取りして、新しい価値を構想し、世界に発信する。

我が国が、これからも最先端の「知財立国」として、世界をリードしていくとの決意のもと、

- ①中小企業やベンチャー企業への支援強化、
- ②創造性あふれる人材の育成、
- ③我が国の質の高い農作物、コンテンツの海外展開支援、
- ④クールジャパン戦略の更なる世界展開

など、

関係省庁は一丸となって、大胆かつ具体的な政策を果敢に実行していただきたいと思います。」

2. 検証・評価・企画委員会の検討体制（平成30年10月以降）

○ 知的財産戦略本部の下に設置されている検証・評価・企画委員会の下、産業財産権分野、コンテンツ分野の別、あるいは合同会合として「知的財産推進計画2018」の検証・評価及び「知的財産推進計画2019」に向けた企画・立案のための議論を行うとともに、以下のとおり新たな検討体制を整備する。

○ 知財のビジネス価値評価検討タスクフォース

将来を構想するための思考補助ツールとして本タスクフォースから提案した「経営デザインシート」の普及啓発と改善に向けた議論を行うため、昨年度に引き続き開催する。

○ 価値デザイン社会実現に資する実質的なオープンイノベーションの実施に関するタスクフォース

「価値デザイン社会」の実現に資するべく、諸外国の事例も参照しながら、オープンイノベーションが社会に実装されるようにするための課題を、人や場・組織等の経営資源、知財システム等に注目しつつ整理し、対応策を検討するため開催する（年度明け取りまとめ予定）。

「知的財産推進計画2019」策定に向けた検討体制(案)

知的財産戦略本部

「知的財産推進計画2019」決定
(2019年5月)

「知的財産戦略ビジョン」改訂

検証・評価・企画委員会

○「推進計画2019」素案取りまとめ

産業財産権分野を取り扱う会合

(座長) 渡部 俊也
東京大学政策ビジョン研究センター
教授

コンテンツ分野を取り扱う会合

(座長) 中村 伊知哉
慶応義塾大学大学院
メディアデザイン研究科 教授

○オープンイノベーションへの知財マネジメ
ント、知財創造教育等について検討
○来年5月頃まで6回程度開催

○映画産業振興、デジタルアーカイブ
の推進等について検討
○来年5月頃まで6回程度開催

※合同会合としても開催

○「推進計画2018」の進捗状況検証、推進計画素案取りまとめ等

知的財産戦略ビ
ジョンに関する
専門調査会

○「知的財産戦略ビジョ
ン」(2018年6月)につ
いての更なる検討

知財のビジネス価値評価検討タスクフォース

(H29.11設置)
(座長) 渡部 俊也 東京大学政策ビジョン研究センター教授

価値デザイン社会実現に資する実質的なオープンイノベーションの実施に関するタスクフォース

(H30.11設置)
(座長) 渡部 俊也 東京大学政策ビジョン研究センター教授
(副座長) 本村 陽一 産業技術研究所
人工知能研究センター 首席研究員